

登録コード	TSP20500	開講年度	2026				
授業科目	学外特別実習（機械）					担当教員	榎 和彦
英文授業名	Advanced Internship on Mechanical Engineering					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	機械システム工学分野1～2年生
講義室			授業形態	実験	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【研究科共通】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力					・社会に出たときどのような知識・能力が期待されているのかを理解できるようになる。	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力					・社会でどのような知識・能力が期待されているのかを理解できるようになる。	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					・学際領域に関する知識を修得できるようになる。	
(2)授業の概要	学内外で紹介・公募されているインターンシップで、本科目の趣旨に合致し、質と量ともに科目単位数（2単位）に見合う内容の実習に対して、本科目の単位として認定する。希望者は事前に学務委員に申し出て、原則として自身で当該実習に応募する。						
(3)授業計画	具体的な実習内容と計画は実施機関・企業に任せられるが、実施内容が本科目の認定に相当するかどうかについては、予め学務委員に確認せねばならない。学外特別実習の実施時間は、実験・実習を基準に、45時間（=3時間×15週）×2を目安に2単位とする。						
(4)成績評価の方法	単位認定までの手続きは、以下の通りである。 1. インターンシップ等の研修実施前に、機械システム工学科学務委員に単位認定を申請する旨を連絡するとともに、実施要綱等のコピーを提出する。 2. 活動した団体の責任者の署名等が入った実施報告書を、同学務委員に提出する。報告書の体裁は自由であるが、報告書には、タイトル、提出日、学籍番号、氏名、実施日・時間・研修内容・感想（学び）・その他を記入すること。学務委員の氏名その他の詳細については、履修案内に掲載されているので参照すること。						
(5)成績評価の基準	可：当該活動の成果が受け入れ機関もしくは学科が認める基準に達している。 良：上記を満たした上で、本人の積極的な取り組みが認められる。 優：上記2点を満たした上で、本人の独創的な取り組みが認められる。 秀：上記3点を満たした上で、当該活動の成果が特に認められて、受け入れ機関、信州大学、その他の機関から表彰された場合。						
(6)事前事後学習の内容	受け入れ機関の定めに従うこと。						
(7)履修上の注意	学外特別実習の単位を希望する者は、インターンシップ等の学外実習を開始する前に、予め学科の学務委員に申し出て、当該実習が本科目の単位として認められることを確認し、了解を得ること。事前に申し出ていない場合には、本科目の単位として認められない場合があるので注意すること。						
(8)質問,相談への対応	メール等にて随時受け付ける。教員室を訪ねる場合は、事前にアポイントメントをとること。						
(9)その他							
【教科書】							
【参考書】							